

令和 7 年度 ニシン漁獲物調査速報 (1)：厚田地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 1 月 22 日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。なお、サンプリング当日は後志地方の猛吹雪かつ高速道路通行止めにより、試験場への帰着が夕方になり、翌日に生物測定を行いました。さらに、昨日の札幌の大雪で通勤が叶わず、これらの事情により速報の発表が今日になっております。

【結果】

1. 標本の採取状況

漁獲物の中から、メス特大、メス大、オス特大、オス大の 4 銘柄の標本を入手し、生物測定を行いました。

2. 銘柄「メス特大」の結果

銘柄「メス特大」の標本 41 尾中、不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）の個体は皆無でした。卵粒が透明化し、腹部を圧迫すれば容易に卵が総排出腔から出てくるような完熟個体（熟度 40）は 37 尾（90%）でした。完熟に近いが卵粒の透明感に欠け完熟少し前といった個体（熟度 30）は 4 尾（9.8%）でした。平均卵巣重量（最小～最大）は、100.7 g (65.5～137.8 g) でした。尾叉長 31～32 cm 台の個体が多く（図 1）、体重 360～449 g が中心となっていました（図 2）。

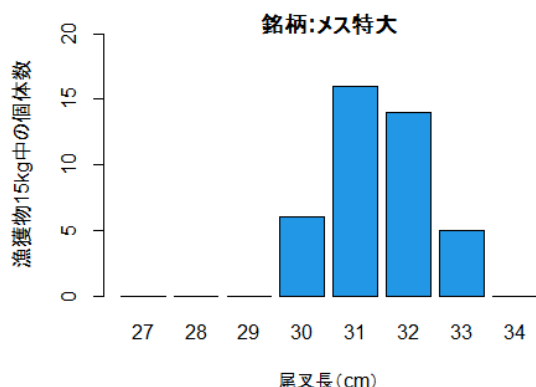


図 1 銘柄「メス特大」の尾叉長組成 (cm)

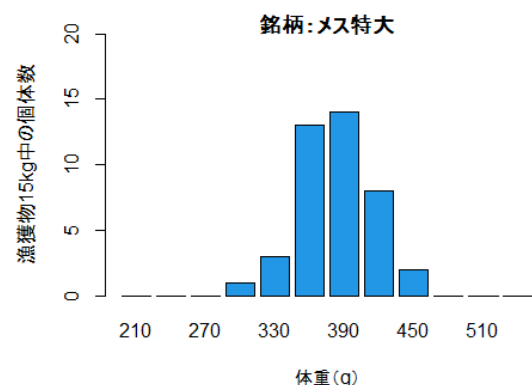


図 2 銘柄「メス特大」の体重 (g)

3. 銘柄「メス大」の結果

銘柄「メス大」の標本 52 尾中、不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）の個体は皆無でした。卵粒が透明化し、腹部を圧迫すれば容易に卵が総排出腔から出てくるような完熟個体（熟度 40）は 46 尾（88%）でした。完熟に近いが卵粒の透明感に欠け完熟少し前といった個体（熟度 30）は 6 尾（12%）でした。平均卵巣重量（最小～最大）は、71.5 g (46.7～96.4 g) でした。

た。尾叉長 28～31 cm 台の個体が多く（図 3）、
体重 310～359 g が中心となっていました（図

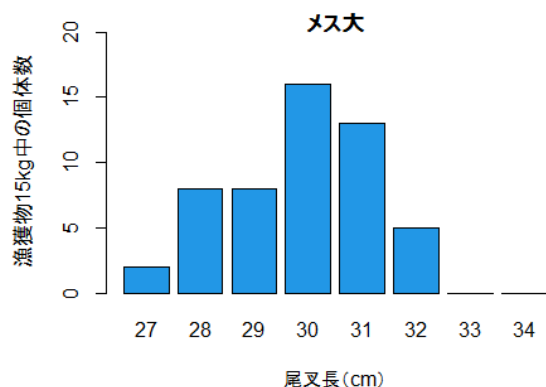


図 3 銘柄「メス大」の尾叉長組成 (cm)

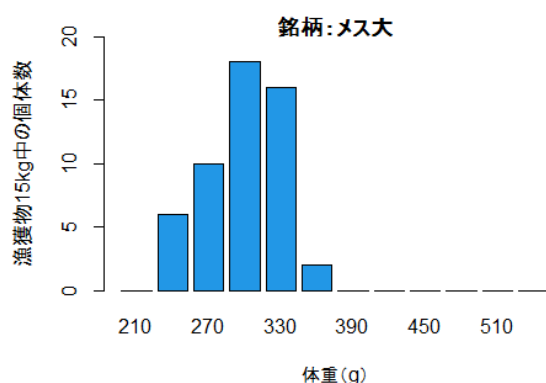


図 4 銘柄「メス特大」の体重 (g)

4. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本 42 尾すべてが成熟し、かつ放精前の個体（熟度 20）がすべてでした。尾叉長 31～33 cm 台の個体が多く（図 5）、
体重 330～419 g が中心となっていました（図

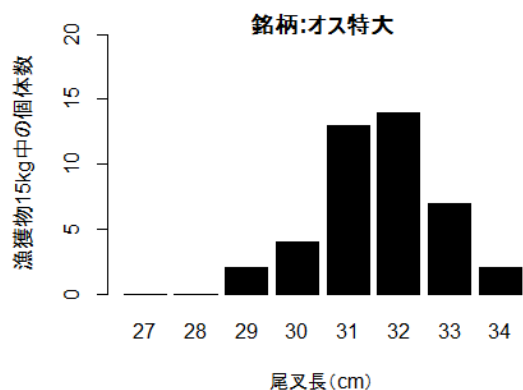


図 5 銘柄「オス特大」の尾叉長組成 (cm)

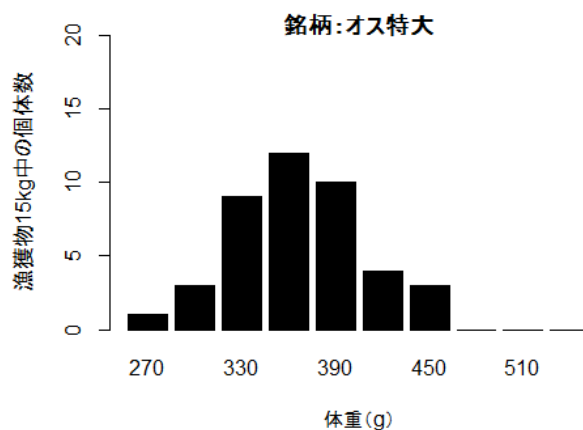


図 6 銘柄「オス特大」の体重組成 (g)

5. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」の標本 49 尾すべてが成熟し、かつ放精前の個体（熟度 20）がすべてでした。尾叉長 31～32 cm 台の個体が多く（図 7）、
体重 300～389 g が中心となっていました（図 8）。

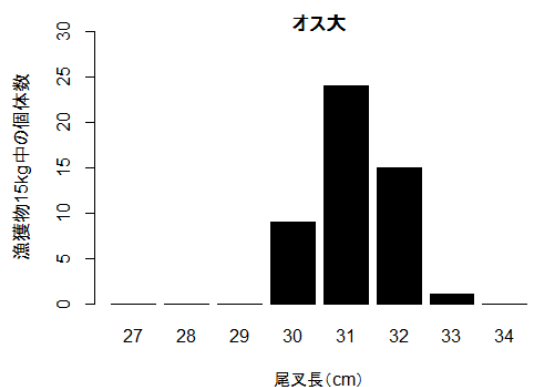


図 7 銘柄「オス大」の尾叉長組成 (cm)

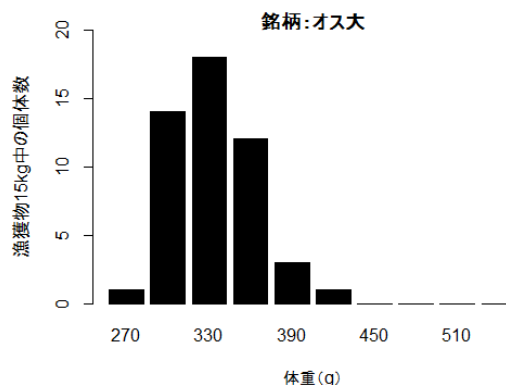


図 8 銘柄「オス大」の体重組成 (g)